

H22年度 教育・事業本委員会 活動計画書

委員会名		教育・事業本委員会
委員の構成		担当副会長 佐藤東亜男（愛知） 委員長 衛藤照夫（京都） 委員 松崎健児（北海道） 仲川昌夫（山形） 進藤哲雄（山梨） 廣瀬高保（愛知） 塚田律夫（石川） 高木伸人（京都） 上田茂久（大阪） 高橋伸明（兵庫） 依光成元（高知） 岡村則満（長崎）
活動目的 （重点施策との関係）		1. 建築士の資質の維持向上および自律的監督体制の整備に係わる事業 5. 地域実践活動の推進
平成21年度 活動報告	主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築士総合研修テキストの全面改訂 ・ 建築士定期講習の受講促進 ・ 建築甲子園の企画検討 ・ 会員作品展の実施
	成果物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2010年版すべての建築士のための総合研修テキストの発刊 ・ 建築甲子園の実施
平成22年度 活動計画	主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 士法22条の2建築士定期講習の実施方法と実施体制の見直しに関する検討 <ol style="list-style-type: none"> ①支部単位での講習開催等、士会の組織力を活用した実施・運営 ②連合会が講習実施機関となり、士会が主体的に講習を実施できるための方策の検討 2. 士法22条の4に基づく建築士総合研修の企画、実施方法の見直し等について <ol style="list-style-type: none"> ①受講者ニーズに見合う内容と実施方法への見直し DVD、WEBなども活用 ②テキストの分冊化等による安価な教材による受講料の低額化 ③定期講習と遜色の無い「総合研修」の受講修了者（あるいはCPD履修者）については、定期講習の受講免除等について国へ提言する。 3. 建築甲子園の実施 4. 会員作品展の実施 <ol style="list-style-type: none"> ①住宅等部門賞の設定についての検討 ②応募作品の公開方法（会誌掲載からWEB掲載）の変更について 5. 次年度以降の「建築士の日」の事業について 全国一斉事業実施の再検討 6. 助成金（「建築士の日」の事業」「建築文化講演会」「研修」）の見直し 実施の有無にかかわらず一律助成方法の見直し
	成果物	